

電子公文書の適切な移管時期及び 移管方法は、どのようなものか(論点3)

平成17年12月

内閣府

小論点1. 電子公文書の移管時期等(注)

- ◆ **従来通り、保存期間満了後に移管することとするか。**
 - 移管前であってもマイグレーション・媒体変換等長期保存上の措置を各省において講ずる必要があるが、当該措置の統一性を確保するためには、内閣府又は国立公文書館が標準等を策定した上で、適切な措置が実施されているか否かを検証するシステムを構築・運用する必要があるのではないか。
- ◆ **保存期間満了前に移管することが考えられる。**
 - 電子公文書の移管が早ければ早いほど、長期保存上の措置を統一的に講じる可能性が高まる。
 - 移管後も、効率性に配慮しつつ、各省が電子公文書を容易に利用できる環境を整備する必要がある。
 - 行政機関情報公開法及び個人情報保護法等との関係の整理が必要である。
- ◆ **移管対象文書の評価選別は、保存期間満了前に行う必要がある。**
 - 移管時期にかかわらず、長期保存上の措置を講ずるべき歴史公文書を保存期間満了前に評価選別する必要がある。
 - 保存期間満了前の評価選別を可能にする方法としては、カナダ、オーストラリア等で行われているマクロ評価選別の考え方を採り入れることが考えられるのではないか。

(注)本資料で「移管」とは、国立公文書館法15条に規定する法的意味ではなく、物理的・論理的な移送の意味で用いる。

小論点2 . 電子公文書の移管方法の比較

- ◆ **紙・マイクロフィルム等可読性があり長期保存に適した非電子媒体への変換による移管**
 - 既存の知識・技術等の活用により比較的容易に長期の保存・利用が可能になるが、媒体変換によりメタデータが失われるおそれがある、データベース、音声、映像等媒体変換に適していないものがある、相対的に大きな保存スペースが必要である、利用時の利便性が電子媒体に劣る等の短所があるので、電子公文書の長期保存の仕組み(制度・技術等)が確立するまでの過渡期の方法として限定的に行うことが考えられるのではないか。
- ◆ **電子媒体による移管**
 - 移管事務に係る業務量・経費の軽減や保存スペースの節約が可能であるほか、移管後も、複製・オンライン等により、作成省庁、一般利用者双方にとって、利用時の利便性が高い。

小論点2 . 電子公文書の移管方法の比較

◆ モノとしての電子媒体(CD - R、DVD等)による移管

- 「目に見える」モノとしての電子媒体は職員がイメージしやすく、電子公文書の長期保存の仕組み(制度・技術等)が確立するまでの過渡期の方法として実施することが考えられる。
- 移管時に各省庁がモノとしての電子媒体に当該文書を書き込む必要があるため、将来、電子政府化がさらに進展し、移管する電子公文書が増加した場合には、紙媒体による移管以上に移管事務に係る業務量・経費が増大するおそれがある。
- 媒体寿命が短いので、移管後は、国立公文書館の保存用システムで保存することが考えられるが、移管時の媒体を保存し続ける必要があるか。

◆ モノ以外の電子媒体(オンライン等)による移管

- 移管する電子公文書が増加しても移管事務に係る業務量・経費等の増加を抑制できるほか、移管時期を柔軟に設定することが可能である。
- 政府内専用ネットワークである「霞が関WAN」を活用した移管が実現すれば、移管時のセキュリティも確保されることが考えられる。
- 「目に見えない」移管なので、明確なルール化やプロセス管理が必要である。
- 「霞が関WAN」を含む各省庁及び国立公文書館双方のインフラを拡充する必要がある。

小論点2 . 電子公文書の移管方法の比較

◆ オンラインによる移管

- 「目に見えない」が、電子公文書の保存場所が各省庁から国立公文書館へ移るので、管理権限移行による移管と比較して、職員がイメージしやすいので、ルール化や運用も相対的に容易である。

◆ 管理権限移行による移管

- 各省庁は、電子公文書の保存場所が移管の前後で変わらないので、電子公文書の利用について、移管前と同様の利便性を享受できるが、長期保存する義務を負う電子公文書が増大し続けることとなるので、文書保存に係る設備投資、事務量等の増大に対応しなければならなくなる可能性がある。
- 各省庁の電子公文書管理・保存システム総体としての管理責任は省庁自体が負いながら、「歴史公文書」に該当するものだけの管理権限を国立公文書館に移行するので、「歴史公文書」の管理に係る事務・経費負担の切り分けが難しくなる。
- 移管対象であるか否かによってアクセス権限等を設定するため、緻密な管理やセキュリティ確保を行う必要があるので、そのための事務量・経費が増大するおそれがある。